

平成23年(2011年)度

事業報告書及び決算報告書

付 ・ 平成24年(2012年)度事業計画書及び予算書

公益財団法人 神奈川文学振興会

目 次

平成23年(2011年)度 事業報告書及び決算報告書

I	事業報告書	-----	1
1	理事会	-----	1
2	評議員会	-----	1
3	指定管理事業	-----	2
	(1) 文学資料の収集・整理・保存及び公開		
	(2) 資料の複製		
	(3) 神奈川近代文学館ホームページの公開		
	(4) 展覧会の開催		
	(5) 会議室の利用状況		
	(6) 講演会・対談の開催		
	(7) 講座等の開催		
	(8) 展覧会図録の刊行		
	(9) ギャラリートークの開催		
	(10) 文字・活字文化振興事業		
	① 講演会・講座・講談会等の開催		
	② 朗読会・朗読コンサートの開催		
	③ 文字・活字文化の日記念行事		
	④ 子ども向け行事		
	⑤ 映画会の開催		
	⑥ 啓発広報事業		
	⑦ 生涯学習支援事業、他館等との共催・後援・協力・交流		
4	自主事業	-----	11
	(1) 閲覧室展覧会関連読書コーナー		
	(2) 神奈川近代文学館懇話会		
	(3) 神奈川近代文学館友の会		
	(4) 神奈川近代文学館を支援(サポート)する会		
	(5) 展覧会図録の刊行		
	(6) 文学展の制作・提供、文学研究への協力		
	(7) 博物館実習・インターンシップの実施		
	(8) その他の提携事業		
	(9) 他館等への後援など		
5	役員等に関する事項	-----	16
	(1) 顧問に関する事項		
	(2) 役員に関する事項		
	(3) 評議員に関する事項		
	(4) 役員・評議員の異動に関する事項		
	(5) 神奈川近代文学館懇話会に関する事項		
II	決算報告書		
1	収支計算書	-----	19
2	正味財産増減計算書	-----	22
3	貸借対照表	-----	24
4	財産目録	-----	26
5	財務諸表に対する注記	-----	27

平成23年(2011年)度事業報告書及び決算報告書

I 事業報告書

1 理事会

○第1回(通算第69回)

- 開催日 2011年6月11日(土)
出席理事 9人 出席監事 1人
議決事項
1. 平成22年(2010年)度事業報告及び決算報告について
 2. 業務執行理事の選任について
 3. 諸規程の改正について
 4. 評議員会の招集について
 5. 顧問の委嘱について

○第2回(通算第70回)

- 開催日 2012年3月20日(火・祝)
出席理事 9人 出席監事 1人
議決事項
1. 平成23年(2011年)度予算の補正について
 2. 平成24年(2012年)度事業計画及び予算について
 3. 理事長の退任と新理事長の選任について
 4. その他

2 評議員会

○第1回(通算第61回)

- 開催日 2011年6月26日(日)
出席評議員 15人
議決事項
1. 平成22年(2010年)度事業報告及び決算報告について
 2. 諸規程の改正について

※ 平成23年4月1日 公益財団法人神奈川文学振興会移行登記

3 指定管理事業

(1) 文学資料の収集・整理・保存及び公開

○寄贈

寄贈者 1,025名（山田幸男氏、中嶋敬介氏、平尾信正・和彦氏、佐江衆一氏、松崎鉄之介氏、加藤弘和氏、司修氏、出久根達郎氏、長島恵美子氏、清水千枝子・章氏、岩波書店、角川書店、講談社、集英社、新潮社、筑摩書房、中央公論新社、文藝春秋ほか）

図 書	8,787冊
雑 誌	8,305冊
特別資料	2,300件
計	19,392冊(件)

○購入

図 書	666冊
雑 誌	1,343冊
特別資料	15件
計	2,024冊(件)

○所蔵状況

図 書	454,934冊
雑 誌	474,544冊
特別資料	191,905件
登録資料小計	1,121,383冊(件)
未登録資料	約36,000冊(件)
計	約1,157,000冊(件)
寄託資料	11人 3,797件

*登録資料はすべて閲覧が可能です。

○電算入力

	(2011年度)	(累計)
図 書	5,688冊	442,983冊 (登録資料の97.4%)
雑 誌	9,898冊	466,341冊 (登録資料の98.3%、タイトル20,295誌)
特別資料	3,346件	185,010件 (登録資料の96.4%)
計	18,932冊(件)	1,094,334冊(件)

*登録資料のうち、電算未入力分は手書き台帳による登録。

○整理済点数

	(2011年度)	(累計)
図 書	6,458冊	156,530冊 (登録資料の34.4%)
雑 誌	9,898冊	466,341冊 (登録資料の98.3%)
特別資料	3,915点	101,838点 (登録資料の53.1%)
計	20,271点	724,709点

○その他の入力

- ◇雑誌内容書誌入力 259誌3,397冊について、雑誌各冊データの内容書誌を入力。
(累計：約76,400冊)
- ◇移管資料データ作成 移管予定の図書1,893冊について各書誌を入力。
- ◇特別資料画像データ作成 獅子文六資料、井上ひさし資料ほかの画像データ1,707点を作成。
- ◇児童書総合目録データ作成 図書7,629冊、雑誌1,410件について国際子ども図書館・児童書総合目録への投入用データを作成。
- ◇読書コーナーデータ作成 読書コーナー排架用資料データ2,183件を作成。

○閲覧室の利用状況

- ◇利用者数 6,748人(開室日数292日 一日平均23人)
- ◇レファレンス件数 213件
- ◇複写サービス 763件 29,892枚

○文庫目録の刊行

県立神奈川近代文学館収蔵文庫目録第18集『那須辰造文庫目録』を刊行しました。

○特別資料の利用

- ◇資料の閲覧 266件 10,431点
- ◇資料の貸出 23件 281点
(市川市文学プラザ「井上ひさし～東北への眼差し～」ほか類縁施設の特別展など)
- ◇写真の撮影 46件 375点
- ◇写真の貸出 105件 1,943点

○特別資料データのネット公開

原稿、自筆資料、書簡など2010年度の受入データ3,308件を新たに加え累計約17万5千点のデータがインターネットで検索可能となりました。

特別資料検索利用登録者 149人(累計1,244人)

(2) 資料の複製

- 常設展示候補および館蔵資料の中から8件の複製を製作しました。

<作製資料>

有島武郎「溺れかけた兄妹」原稿、夏目漱石 野間真綱宛はがき(M39.10.7)、夏目漱石 野間真綱宛はがき(M40.9.28)、夏目漱石 林原未井宛はがき(M40.12.18)、夏目漱石「為取替一札之事」文書、夏目漱石「約定金請取之証」文書、夏目漱石「古今楹聯彙刻」文箱、夏目漱石 紫檀二段抽斗文箱

(3) 神奈川近代文学館ホームページの公開

- アクセス数 155,578件(うち、蔵書検索アクセス数 53,973件)

(4) 展覧会の開催

○荻原井泉水と「層雲」100周年記念展

会期・日数 4月1日(金)～4月17日(日) 15日 ※会期は3月5日(土)から

*同時開催 新収蔵資料展 2010年度・常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展
第2部ー芥川龍之介から中島敦まで 編集委員 富岡幸一郎(以後常設展同)

観覧者数 542人(1日平均36人)

○特別展 「没後15年 遠藤周作展ー21世紀の生命のためにー」

「沈黙」「深い河」などの作品で多くの読者に感動を与えた遠藤周作の生涯と文学を日記、書簡、原稿などの肉筆資料でたどり、遠藤が現代社会に投げかけるメッセージを提示しました。長崎市遠藤周作文学館、町田市民文学館ことばらんどほかの後援のもと3部構成で展覧。手引き資料として図録(B5判 64頁)を製作しました。

会期・日数 4月23日(土)～6月5日(日) 39日

後援 長崎市遠藤周作文学館、町田市民文学館ことばらんど、
NHK横浜放送局、神奈川新聞社、t v k

協賛 講談社、集英社、新潮社、京浜急行電鉄、相模鉄道、東京急行電鉄、
横浜市交通局、神奈川近代文学館を支援する会

編集委員 加藤宗哉、富岡幸一郎

観覧者数 12,360人(1日平均317人)

○企画展 「漱石と文人たちの書画」展

当館が所蔵する資料のなかから、特に明治・大正時代に活動をはじめた文学者を対象に、コレクションとしてまとまりのある書や絵画を「硯友社の人びと」「漱石とその周辺」「白樺派の人びと」の3つの部門で展覧。手引き資料としてリーフレットを製作し、無償配布しました。

会期・日数 6月11日(土)～7月31日(日) 45日

後援 NHK横浜放送局、神奈川新聞社、t v k

協賛 東京急行電鉄、横浜市交通局、神奈川近代文学館を支援する会

*同時開催 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第3部ー太宰治、三島由紀夫から現代まで

観覧者数 3,973人(1日平均88人)

○特別展 「安野光雅美術館開館10周年記念 安野光雅展ーアンデルセンと旅して」

夢と空想に満ちた安野光雅の絵本の世界を「旅の絵本VI」などの原画を中心に展覧し、安野とアンデルセンの関わりを紹介。安野が「生涯の一冊」と呼ぶ小説「即興詩人」の世界や安野が現代人にすすめる文語文の魅力も取り上げました。手引き資料として図録(B5判変型 48頁)を製作しました。

会期・日数 8月6日(土)～9月25日(日) 45日

協力 津和野町立安野光雅美術館

後援 デンマーク大使館、社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)、
神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、神奈川新聞社、t v k

協賛 福音館書店、山川出版社、京浜急行電鉄、相模鉄道、東京急行電鉄、
横浜市交通局、神奈川近代文学館を支援する会

観覧者数 15,130人(1日平均336人)

○特別展 「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」

『放浪記』で文壇にデビューし、ベストセラー作家として活躍しながら、47歳で急逝した林芙美子の劇的な生涯を紹介。さらに多岐にわたった作品の魅力を、没後60年を経てあらたに問い直しました。手引き資料として図録(B5判 64頁)を製作しました。

会期・日数 10月1日(土)～11月13日(日) 39日
 共催 新宿区立新宿歴史博物館
 後援 NHK横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、t v k
 協賛 京浜急行電鉄、相模鉄道、東京急行電鉄、横浜市交通局、
 神奈川近代文学館を支援する会

編集委員 太田治子、川本三郎
 観覧者数 6,098人(1日平均156人)

- 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第1部－夏目漱石から萩原朔太郎まで
 会期中に行われたイベント「私の本について話そう」と連動して、司修『本の魔法』の展示コーナーを
 設置。同書にとりあげられた装幀本やその原画などを展示しました。

会期・日数 11月19日(土)～1月9日(月・祝) 38日
 協賛 神奈川近代文学館を支援する会
 観覧者数 1,311人(1日平均35人)

- 企画展「作家と万年筆展」

作家にとって何よりも大切な“商売道具”とも言える万年筆を特集し、明治、大正期の文豪から現在
 活躍する作家まで計27名の愛用の品を自筆原稿などとともに展覧。手引き資料としてリーフレットを
 製作し、無償配布しました。

会期・日数 1月14日(土)～2月26日(日) 38日
 後援 NHK横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、t v k
 協賛 有隣堂、東京急行電鉄、神奈川近代文学館を支援する会
 企画原案 足澤公彦

*同時開催 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第2部－芥川龍之介から中
 島敦まで

観覧者数 5,107人(1日平均134人)

- 収蔵コレクション展11 「没後10年 中藪英助展－〈記録者〉の文学－」

当館が所蔵する「中藪英助文庫」の資料を中心に、多彩なジャンルで活躍した生涯と作品を紹介。中藪
 が追求した広大な文学世界の全体像を展覧する初めての試み。手引き資料としてリーフレットと絵は
 がきを製作し、無償配布しました。

会期・日数 3月3日(土)～3月31日(日) 25日 ※会期は4月22日(日)まで
 後援 大倉山商店街振興組合、神奈川県日本中国友好協会、
 NHK横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、t v k
 協賛 東京急行電鉄、神奈川近代文学館を支援する会

*同時開催 新収蔵資料展 2011年度・常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展
 第3部－太宰治、三島由紀夫から現代まで

観覧者数 827人(1日平均33人)

(5) 会議室の利用状況

利用状況

会議室名	利用回数	利用人数	＜利用回数の内訳＞
小会議室	321回	3,675人	講演会、読書会等 14回
中会議室	153回	5,532人	俳句会、短歌会等 70回
和室	141回	1,581人	その他(文学関係) 38回
ホール	67回	8,345人	その他 560回
計	682回	19,133人	

(6) 講演会・対談の開催(会場:展示館ホール)

- 「没後15年 遠藤周作展－21世紀の生命のために－」記念講演会
- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数 |
|------------|------|-------------|------|
| 4月29日(金・祝) | 加賀乙彦 | 「遠藤周作さんと私」 | 278人 |
| 5月29日(日) | 妹尾河童 | 「河童が語る遠藤周作」 | 195人 |
- 「安野光雅美術館開館10周年記念 安野光雅展－アンデルセンと旅して」記念対談
- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数 |
|----------|----------|-----------------|------|
| 8月28日(日) | 池内紀、松田哲夫 | 「ミスタ・アンノの魅力と偉大」 | 182人 |
- 「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」記念講演会
- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数 |
|-----------|------|-----------------------------------|------|
| 10月16日(日) | 太田治子 | 「林芙美子の愛のかたち
－『浮雲』をとおして」 | 242人 |
| 11月5日(土) | 川本三郎 | 「映画の中の女性たち
－『放浪記』『晩菊』『浮雲』『めし』」 | 267人 |

(7) 講座等の開催(会場:展示館ホール)

- 荻原井泉水と「層雲」100周年記念展記念講座
- | 期日 | 出演 | 演題 | 入場者数 |
|---------|------|--------------------------|------|
| 4月9日(土) | 復本一郎 | 「荻原井泉水著
『自由律俳句入門』を読む」 | 92人 |
- 「没後15年 遠藤周作展－21世紀の生命のために－」記念講座
- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数 |
|----------|-----|---|------|
| 5月14日(土) | 森一弘 | 「遠藤周作の、西欧世界との遭遇、
キリスト教との遭遇
－作品『留学』から『沈黙』へ
『沈黙』から『深い河』へ－」 | 269人 |
- 「没後15年 遠藤周作展－21世紀の生命のために－」記念 講談とトーク
(共催:周作クラブ)
- | 期日 | 出演 | 演題 | 入場者数 |
|----------|--------------|-----------------------------|------|
| 5月22日(日) | 高橋千劔破
神田蘭 | 「信長の愛した女たち
－遠藤周作の歴史小説から」 | 189人 |

(8) 展覧会図録の刊行

- 特別展の手引き、資料として下記の図録を刊行し、希望者に頒布しました。
「没後15年 遠藤周作展－21世紀の生命のために－」(B5判 本文64頁 3,000部 頒価900円)
「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」(B5判 本文64頁 3,000部 頒価900円)

(9) ギャラリートークの開催(会場:展示館エントランスホール)

- 「没後15年 遠藤周作展－21世紀の生命のために－」ギャラリートーク
- | 期日 | 解説者 | 入場者数 |
|------------|-------|-------|
| 金曜日毎に計5回開催 | 展示担当者 | 計228人 |
- 「漱石と文人たちの書画」展ギャラリートーク
- | 期日 | 解説者 | 入場者数 |
|------------|-------|------|
| 展示開催中計3回開催 | 展示担当者 | 計76人 |

- 「安野光雅美術館開館10周年記念 安野光雅展－アンデルセンと旅して」ギャラリートーク
 期日 解説者 入場者数
 展示開催中計3回開催 展示担当者 計134人
- 「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」ギャラリートーク
 期日 解説者 入場者数
 金曜日毎に計6回開催 展示担当者 計196人
- 「作家と万年筆展」ギャラリートーク
 期日 解説者 入場者数
 展示開催中計3回開催 展示担当者 計80人
- 「没後10年 中藺英助展－〈記録者〉の文学－」ギャラリートーク（※会期中計4回開催）
 期日 解説者 入場者数
 展示開催中計2回開催 展示担当者 計10人

(10) 文字・活字文化振興事業

① 講演会・講座・講談会等の開催(会場:展示館ホールほか)

- 「没後15年 遠藤周作展－21世紀の生命のために－」開催記念 春のカルチャーイベント
 (共催:(財)はまぎん産業文化振興財団)(会場:はまぎんホールヴィアマール)
 期日 出演 演題 入場者数
 4月17日(日) 石坂浩二 「遠藤周作『侍』を読む」 457人
 加藤宗哉(聞き手)
- 「没後15年 遠藤周作展－21世紀の生命のために－」記念シンポジウム
 期日 講師 演題 入場者数
 5月5日(木・祝) 兼子盾夫 「遠藤周作を21世紀に読む」 217人
 笛木美佳
 富岡幸一郎(コーディネーター)
- 「私の本について話そう」33
 期日 講師 演題 入場者数
 7月2日(土) 青木奈緒 『幸田家のきもの』 180人
- 「私の本について話そう」34・「漱石と文人たちの書画」展記念講演会
 期日 講師 演題 入場者数
 7月23日(土) 夏目房之介 「孫から見た漱石の書画」 197人
- 「私の本について話そう」35
 期日 講師 演題 入場者数
 12月3日(土) 司修 『本の魔法』 95人
- かなぶん寄席 新春講談会
 期日 出演 演題 入場者数
 1月29日(日) 神田蘭 「越の海勇蔵出世相撲」「小松姫」 82人
- 「私の本について話そう」36・「作家と万年筆展」記念講演会
 期日 講師 演題 入場者数
 2月19日(日) 出久根達郎 「『文字を書く』ということ」 253人
- 「没後10年 中藺英助展－〈記録者〉の文学－」記念講座
 期日 講師 演題 入場者数
 3月18日(日) 立石伯 「歴史と記録の闇を透視する眼
 －蘇る中藺英助の文学魂－」 70人

3月31日(土)	新保博久	「中蘭版スパイ・ミステリーを いま読む意義」	54人
----------	------	---------------------------	-----

② 朗読会・朗読コンサートの開催(会場:展示館ホールほか)

○花音朗読コンサート(共催:語りと音楽・花音)

期日	朗読	作品	入場者数
8月6日(土)	花音	「口語訳 即興詩人」ほか	142人

○「安野光雅美術館開館10周年記念 安野光雅展—アンデルセンと旅して」記念トークコンサート

期日	演奏・トーク	演題	入場者数
9月24日(土)	森ミドリ	「安野先生と私」 アンサンブル フィオレッティ(歌)	240人

○「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」記念朗読会

期日	朗読・トーク	作品	入場者数
10月8日(土)	紺野美沙子	「放浪記」から 北村文典(ゲスト) +対談「放浪記」が伝えるもの	181人

○ふみのしおり朗読会(共催:ふみのしおり)

期日	朗読	作品	入場者数
10月15日(土)	ふみのしおり	「昔の家」「鶴の笛」	29人
10月30日(日)	ふみのしおり	「昔の家」「鶴の笛」	25人
11月3日(木・祝)	ふみのしおり	「昔の家」「鶴の笛」	49人

③ 文字・活字文化の日記念行事

○10月27日(木)に限り観覧料を無料にしました。

○「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」ギャラリートーク

(会場:展示館エントランスホール):入場者数74人

○バックヤード見学:参加者数8人

○プレゼント抽選

展示観覧者を対象に「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」展の図録など、ミュージアムグッズを抽選でプレゼントしました。

○記念朗読会(兼:「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」記念朗読会)

期日	朗読	作品	入場者数
10月22日(土)	五大路子	「晩菊」「骨」	207人

④ 子ども向け行事

○ミュージアム・クイズ・ラリー —よこはま2011『昭和30年代を探しに』

県立歴史博物館など中区・西区内の15館で協力して夏休みの子ども向け企画として開催しました。

期間	参加来館者
7月16日(土)~8月31日(水)	219人

○ミュージアム・クイズ・ラリー —よこはま2011『昭和30年代を探しに』

関連行事ミュージアム・ツアー 第1回 山手・山下コース

期間	参加来館者
8月12日(金)	6人

○文学館共通パスポート

町田市民文学館ことばらんど、鎌倉文学館の3館で協力して夏休みの子ども向け企画としてスタンプラリーを開催しました。

期間	参加来館者
8月9日(火)~8月31日(水)	71人

○かなぶんキッズクラブ「夏休み子ども映画会」(会場:展示館ホール)		
期日	上映作品	入場者数
8月11日(木)	「みにくいあひるの子」ほか	164人
8月12日(金)	「はだかの王様」ほか	143人

○かなぶんキッズクラブ「紙芝居がはじまるよ！」(会場:中会議室)			
期日	出演	作品名	入場者数
8月21日(日)	山下康	「人魚ひめ」ほか	83人
3月20日(火・祝)	山下康	「もちもちの木」ほか	63人

○かなぶんキッズクラブ「絵本であそぼ！」(会場:中会議室)			
期日	出演	作品名	入場者数
8月27日(土)	よこはま文庫の会	安野光雅作品の ブックトークほか	53人

○かなぶんキッズクラブ「春休み子ども映画会」(会場:展示館ホール)		
期日	上映作品	入場者数
3月24日(土)	「かしのきホテル」ほか	33人
3月25日(日)	「こぎつねコンとこだぬきポン」ほか	50人

⑤ 映画会の開催

○ビデオ上映会(会場:中会議室)		
期日	上映作品	入場者数
8月9日(火)	「被爆とわたくし」 (林京子講演・インタビュー記録ビデオ)	25人

○文芸映画を観る会(会場:展示館ホール)(共催:文芸映画を観る会)		
◇第1回:「没後15年 遠藤周作展—21世紀の生命のために—」映画会		
期日	上映作品	入場者数
5月7日(土)	遠藤周作原作「私が棄てた女」	207人
5月8日(日)	遠藤周作原作「私が棄てた女」	200人
◇第2回:「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」映画会		
期日	上映作品	入場者数
10月9日(日)	林芙美子原作「稲妻」	194人
10月10日(月・祝)	林芙美子原作「稲妻」	157人
◇第3回:「作家と万年筆展」・吉川英治没後50年記念映画会		
期日	上映作品	入場者数
2月4日(土)	吉川英治原作「総集版 宮本武蔵」	136人
2月5日(日)	吉川英治原作「総集版 宮本武蔵」	66人

⑥ 啓発広報事業

○機関紙の発行
機関紙「神奈川近代文学館」第112号から第115号を4、7、10月、平成24年1月に発行しました。

⑦ 生涯学習支援事業、他館等との共催・後援・協力・交流

ア 学校教育連携事業

○パネル展 33 (学校図書館巡回 ^パ 祢展14) (共催・会場:県立横浜桜陽高等学校)		
期間	名称	入場者数
5月6日(金)～6月10日(金)	パネル展「中島敦」	3,676人

- パネル展 34 (公共図書館巡回^ハ 初展18) (共催・会場:横浜市南図書館)
- | | | |
|------------------|-------------|------|
| 期間 | 名称 | 入場者数 |
| 6月1日(水)～6月12日(日) | パネル展「長崎源之助」 | 457人 |
- パネル展 35 (共催:長崎源之助追悼展実行委員会)
(会場:独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター)
- | | | |
|------------------|----------------|--------|
| 期間 | 名称 | 入場者数 |
| 9月6日(火)～11月7日(月) | パネル展「長崎源之助追悼展」 | 1,300人 |
- パネル展 36 (学校図書館巡回^ハ 初展15) (共催・会場:向上高等学校)
- | | | |
|--------------------|------------|------|
| 期間 | 名称 | 入場者数 |
| 9月10日(土)～10月22日(土) | パネル展「夏日漱石」 | 300人 |
- パネル展 37 (学校図書館巡回^ハ 初展16) (共催・会場:県立横浜桜陽高等学校)
- | | | |
|--------------------|------------|--------|
| 期間 | 名称 | 入場者数 |
| 10月6日(木)～11月25日(金) | パネル展「夏日漱石」 | 3,032人 |
- パネル展 38 (公共図書館巡回^ハ 初展19) (共催・会場:沼津市立図書館)
- | | | |
|--------------------|-----------|------|
| 期間 | 名称 | 入場者数 |
| 10月22日(土)～11月6日(日) | パネル展「井上靖」 | 500人 |
- パネル展 39 (学校図書館巡回^ハ 初展17) (共催・会場:戸板中学・女子高等学校)
- | | | |
|---------------------|-----------|--------|
| 期間 | 名称 | 入場者数 |
| 10月29日(土)～10月30日(日) | パネル展「中島敦」 | 2,500人 |
- パネル展 40 (学校図書館巡回^ハ 初展18) (共催・会場:県立逗子高等学校)
- | | | |
|---------------------|------------|--------|
| 期間 | 名称 | 入場者数 |
| 10月31日(月)～11月22日(火) | パネル展「夏日漱石」 | 3,678人 |
- パネル展 41 (学校図書館巡回^ハ 初展19) (共催・会場:吉祥女子中学・高等学校)
- | | | |
|--------------------|-----------|--------|
| 期間 | 名称 | 入場者数 |
| 11月7日(月)～11月19日(土) | パネル展「中島敦」 | 1,600人 |
- 横浜国立大学大学院「教育インターン」ゼミ(主催:横浜国立大学大学院一柳廣孝教授ゼミ)
- | | | |
|------|------------------------|--|
| 協力事業 | 横浜国立大学大学院・「一柳ゼミ in文学館」 | |
| 期日 | 8月10日(水) | |
| 参加人数 | 6人 | |
- 神奈川県立総合教育センター研修講座(主催:神奈川県立総合教育センター)
- | | | |
|------|---------------------------------|--|
| 協力事業 | 実践的授業力向上研修講座～新学習指導要領が目指すもの～〔国語〕 | |
| 期日 | 8月11日(木) | |
| 参加人数 | 39人 | |
- 第3回文学館活用研修会(会場:特別会議室)
- | | | |
|------|------------------------------|--|
| 事例発表 | 「神奈川近代文学館のパネル展中島敦を授業に活用する」 | |
| 発表 | 県立横浜桜陽高等学校国語科教諭大坪聡美、学校司書中沢智子 | |
| 研究発表 | 「文学館活用の可能性」 | |
| 発表 | 横浜国立大学教育人間科学部一柳廣孝教授 | |
| 期日 | 1月18日(水) | |
| 参加人数 | 27人 | |

イ 共催・後援・協力・交流事業

- スタジオジブリ映画「コクリコ坂から」公開記念
(共催:FMヨコハマ、スタジオジブリ、ダウンゴ)
- | | | | |
|---------|------|------------------|------|
| 期日 | 出演 | 演題 | 入場者数 |
| 7月8日(金) | 宮崎吾朗 | 映画「コクリコ坂から」公開記念! | 156人 |

川上量生

横浜の高校生限定試写会&

宮崎吾朗監督とのトークイベント

(インターネット中継視聴者 16,257人)

○スタジオジブリ映画「コクリコ坂から」ヨコハマガイド&スタンプラリー

(共催:KDDI、横浜市)

横浜マリントワーなど「コクリコ坂から」の舞台である横浜の施設7個所を巡るスタンプラリーを夏休みの子ども向け企画として開催しました。

期間 参加来館者

7月16日(土)～8月31日(水) 4,105人

○「長崎源之助先生を偲ぶ 平和を「読む・語る会」(共催:よこはま文庫の会)

期日 出演 作品 入場者数

8月14日(日) 阿部壽美子ほか 「ひろしまのエノキ」ほか 231人

○花音朗読コンサート(主催:語りと音楽・花音、秦野市立図書館)(会場:秦野市立図書館)

期日 朗読 作品 入場者数

10月16日(日) 花音 「ごんぎつね」「放浪記」ほか 69人

4 自主事業

(1) 閲覧室展覧会関連読書コーナー

○特集・「荻原井泉水と『層雲』100周年記念展」

会期 4月1日(金)～4月17日(日)

○特集・「没後15年 遠藤周作展－21世紀の生命のために－^{いのち}」

会期 4月19日(火)～6月5日(日)

○特集・「漱石と文人たちの書画」展

会期 6月7日(火)～7月31日(日)

○特集・「安野光雅美術館開館10周年記念 安野光雅展－アンデルセンと旅して」

会期 8月2日(火)～9月25日(日)

○特集・「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」

会期 9月27日(火)～11月13日(日)

○特集・「司修『本の魔法』コーナー」

会期 11月15日(火)～1月9日(月・祝)

○特集・「作家と万年筆展」

会期 1月10日(火)～2月26日(日)

神奈川芸術劇場で開催された「トカトントンと」公演(劇団<地点>)に合わせ、太宰治関連書籍コーナーを設けました。 会期 1月29日(日)～3月29日(木)

○特集・「没後10年 中藺英助展－<記録者>の文学－」

会期 2月28日(火)～3月31日(土)

*読書コーナー展示の観覧者数は閲覧室利用者数に含めて集計しています。

(2) 神奈川近代文学館懇話会

○第3回

開催日 12月23日(金・祝)

出席 20人

報告 1. 平成23年(2011年)度の主な事業実績について
2. 平成23年(2011年)度の資料収集・整理等の概況について

(3) 神奈川近代文学館友の会

○会員に、機関紙の無料配布、展覧会への招待、文学講座等への優待を行いました。
会員952人

○友の会の会員の集い(参加者28人)を開き、同日に会員以外も参加できる朗読会を開催しました。(会場:展示館ホール)

期日	朗読	作品	入場者数
6月18日(土)	南谷朝子	中勘助「銀の匙」	136人

○文学散歩—近隣施設や県内外の文学ゆかりの地を訪ねました。

◇「生誕100年 TARO散歩」

コース：川崎市岡本太郎美術館～青山・星のなる木
～岡本太郎記念館～紅ミュージアム～根津美術館/東京国立近代美術館

期日	参加人数
4月20日(水)	20人
4月27日(水)	44人

◇「新宿文学散歩」(「没後60年記念展 いま輝く林芙美子」記念)

コース：哲学堂公園～新宿区立林芙美子記念館～萬昌院功運寺～新宿茶寮・北大路
～平和祈念展示資料館～新宿区立新宿歴史博物館

期日	参加人数
11月19日(土)	21人
11月25日(金)	48人
11月30日(水)	45人

◇近隣博物館訪問

コース：神奈川近代文学館～菜香新館～関帝廟～蘇曼殊文学碑～横浜都市発展記念館

期日	参加人数
3月23日(金)	19人
3月28日(水)	20人

○「友の会通信 山百合」編集、発行

友の会通信編集委員会により「友の会通信 山百合」第15号から第16号を7月、平成24年1月に発行しました。

(4) 神奈川近代文学館を支援する会

会員数110名(130口)

○特別展、企画展、常設展への協賛

○紹介状等により会員を募り、会員に特別展等の広報協力を呼びかけました。

○神奈川近代文学館懇話会会員と総会を兼ねて懇親会を開催しました。

期日	参加人数
12月23日(金・祝)	28人

(5) 展覧会図録の刊行

○特別展の手引き、資料として下記の図録を刊行し、希望者に頒布しました。

「安野光雅美術館開館10周年記念 安野光雅展—アンデルセンと旅して」

(B5判変型 本文48頁 2,500部 頒価700円)

(6) 文学展の制作・提供、文学研究への協力

- 夏目漱石展パッケージの提供
 - ◇筆の里工房「子規と漱石展」入場者数
 - 会期 10月28日(金)～11月23日(水・祝)7,066人
- 「富永太郎直筆原稿の画像データベース化による文学テキストの生成研究」への協力
 - ◇大妻女子大学
- 文学館建設に向けての事業協力(富山県)
 - ◇高志の国文学館(平成24年夏開館予定)

(7) 博物館実習・インターンシップの実施

- 各大学から博物館実習生を受け入れました。
 - 8月2日(火)～8月7日(日)の6日間 9大学 10人
- インターンシップ・神奈川県教職員初任者研修を受け入れました。
 - 8月16日(火) 1大学 1人
 - 8月17日(水)～8月21日(日)の5日間 教職員 1人

(8) その他の提携事業

- 特別展及び企画展ポスター、チラシ等の駅貼り、設置強化支援
東京急行電鉄、相模鉄道、京浜急行電鉄、横浜市交通局の協賛、協力により、県民への一層の周知を図りました。

(9) 他館等への後援など

① 共催事業

- フェリス女学院大学附属図書館読書運動プロジェクト
「朗読会 前へ ～あたらしい1日が始まる。～」
 - 主催 フェリス女学院大学附属図書館読書運動プロジェクト
 - 演目 宮沢賢治作「セロ弾きのゴーシュ」ほか
 - 出演 フェリス女学院大学附属図書館朗読チーム
 - 期日 2月11日(土・祝)
 - 会場 神奈川近代文学館 展示館ホール

② 後援事業

- 大佛次郎研究会第17回公开发表会
 - 主催 大佛次郎研究会
 - 演題 「劇作家としての大佛次郎 TVドラマ『奴唄』舞台化をめぐる」
 - 出演 津上忠、村上光彦、河原崎國太郎、津田恵一、山崎辰三郎、渾大防一枝
 - 期日 5月28日(土)
 - 会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
- 第40回横浜山手ヘフト祭
 - 主催 横浜山手ヘフト祭実行委員会、横浜・演劇の会、横浜交響楽団
 - 期日 5月29日(日)
 - 会場 山手ゲーテ座
- 鎌倉漱石の会50周年記念企画
 - 主催 鎌倉漱石の会
 - 協賛・後援 神奈川県教育委員会、鎌倉市、鎌倉市教育委員会、(財)日本近代文学館、神奈川新聞社、紀伊國屋書店

協力事業 「高校生の君たちへ漱石作品読書感想文募集」

期間 8月1日(月)～10月31日(月)

○大佛次郎研究会第18回公開発表会

主催 大佛次郎研究会

演題 「大佛次郎は渋沢栄一の原点をどこにみたか ～作品『激流』の世界～」

講師 内海孝

期日 10月29日(土)

会場 神奈川近代文学館 展示館ホール

○子ども読書活動推進フォーラム

主催 神奈川県子ども読書活動推進会議、神奈川県教育委員会

演題 「お話が生まれるまで～わにわにの誕生など～」

講師 小風さち

期日 11月5日(土)

会場 かながわ県民センター

○中島敦の会講演会

主催 中島敦の会、学校法人横浜学園

演題 「中島敦における《文字》、あるいは近代批判について」

講師 諸坂成利

期日 11月12日(土)

会場 神奈川近代文学館 展示館ホール

③ 協力事業

○「かながわ子どもワクワク体験プロジェクト」

主催 教育局生涯学習部生涯学習課

協力事業 「安野光雅美術館開館10周年記念 安野光雅展－アンデルセンと旅して」、
「夏休み子ども映画会」、「紙芝居がはじまるよ!」「絵本であそぼ!」

期間 7月16日(土)～8月31日(水)

○第4回「かながわ子ども・子育て支援月間」

主催 保健福祉局福祉・次世代育成部次世代育成課

協力事業 「安野光雅美術館開館10周年記念 安野光雅展－アンデルセンと旅して」、
「夏休み子ども映画会」、「紙芝居がはじまるよ!」「絵本であそぼ!」

期間 8月

○「堀田善衛とゴヤ」展

主催 集英社

協力 堀田百合子

期間 11月1日(火)～12月15日(木)

会場 集英社ギャラリー

○第6回横浜山手芸術祭

主催 横浜山手芸術祭実行委員会、財団法人横浜市緑の協会、
「横濱・西洋館de古楽」実行委員会

後援 横浜市文化観光局、横浜市中区役所

協力 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、岩崎ミュージアム、
ヒルサイドガーデン、ROCHE、エリゼ光、エレーナ、

The Best Cheesecakes カフェ山手店、山手十番館、山手資料館、
えの木てい

期日 1月29日(日)～3月4日(日)

○劇団民藝公演「静かな落日ー広津家三代」

主催 劇団民藝
期間 2月3日(金)～2月14日(火)
会場 紀伊國屋サザンシアター

○大佛次郎賞受賞記念講演会

主催 朝日新聞社、大佛次郎記念館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
後援 横浜市中区役所
演目 「『本の魔法』にかけられて 映画・芭蕉・装幀」
講師 司修
期日 3月11日(日)
会場 横浜市開港記念会館 講堂

○「神奈川新文学散歩」(神奈川新聞社)

掲載誌 「神奈川新聞」毎月第1・3・5日曜日掲載
執筆 八木寧子

○「FMサウンド★クルーズ」(NHK横浜放送局)

放送 NHK-FM
解説 当館職員
放送内容 遠藤周作 4月12日(火)
牧野信一 5月17日(火)
有島武郎 6月14日(火)
中川一政 7月12日(火)
関東大震災 9月13日(火)
林芙美子 10月11日(火)
与謝野晶子 11月8日(火)
夏目漱石「彼岸過迄」 12月13日(火)
中原中也 1月17日(火)
徳富蘆花 2月14日(火)
中藺英助 3月13日(火)

○「ラジオ電話インタビュー」

放送 FMおだわら
解説 当館職員、額田泉(語りと音楽・花音)
放送内容 荻原井泉水 4月10日(日)
遠藤周作 4月24日(日)、5月1日(日)、5月8日(日)、5月15日(日)
漱石と文人の書画 6月19日(日)、6月26日(日)、7月10日(日)
安野光雅 8月21日(日)、8月28日(日)
林芙美子 10月16日(日)、10月23日(日)
作家と万年筆 2月5日(日)
中藺英助 3月25日(日)

5 役員等に関する事項

(1) 顧問に関する事項(平成24年3月31日現在)

○顧問数 5人

○顧問名簿

阿川 弘之	安西 篤子	黒岩 祐治
林 文子	三浦 朱門	

(2) 役員に関する事項(平成24年3月31日現在)

○役員数 12人

代表理事	1人	業務執行理事	2人
理事	7人	監事	2人

○役員名簿

理事長（代表理事）

紀田 順一郎

副理事長（業務執行理事）

辻原 登

専務理事（業務執行理事）

清原 康正

（理事）

尾崎左永子	上 笙一郎	新保 祐司
-------	-------	-------

富岡幸一郎	長谷川 權	藤沢 周
-------	-------	------

八木 幹夫

（監事）

竹口 秀夫	永峰 潤	
-------	------	--

(3) 評議員に関する事項(平成24年3月31日現在)

○評議員数 15人

○評議員名簿

太田 治子	小泉浩一郎	三枝 昂之
-------	-------	-------

佐江 衆一	佐藤 宗子	志村 有弘
-------	-------	-------

司 修	鳥居 邦朗	新倉 俊一
-----	-------	-------

蜂飼 耳	春名 徹	復本 一郎
------	------	-------

富士川義之	宮坂 覺	林 淑美
-------	------	------

(4) 役員・評議員の異動に関する事項

○役員の変動

就任			退任		
理事長	辻原 登	(24. 4. 1)	理事長	紀田順一郎	24. 3. 31 (理事留任)
副理事長	長谷川 權	(24. 4. 1)	副理事長	辻原 登	24. 3. 31

○評議員の異動

死去		
評議員	岡松 和夫	24. 1. 21

(5) 神奈川県近代文学館懇話会に関する事項(平成24年3月31日現在)

○懇話会員数

97人

○懇話会員名簿

(会 長)
三木 卓
(幹事長)
山田 宗睦
(会 員)
青野 聰
赤瀬川 隼
赤塚 行雄
阿川 弘之
新井 満
荒俣 宏
安西 篤子
伊井 直行
飯塚 容
伊豆 利彦
井上 弘
入沢 康夫
江森 國友
遠藤 祐
大岡 信
太田 治子
大屋 幸世
荻野アンナ
尾崎左永子
笠原 淳
加島 祥造
勝又 浩
加藤 種男
上 笙一郎
禿 慶子
川添 猛
河竹登志夫
川端香男里
川村 湊

川本 三郎
紀田順一郎
北方 謙三
清原 康正
倉 和男
黒井 千次
黒岩 祐治
小泉浩一郎
紅野 謙介
小玉 晃一
小山 文雄
三枝 昂之
西郷 公子
斎藤 栄
佐江 衆一
佐藤さとる
佐藤 宗子
佐藤 裕子
篠原 あや
島田 雅彦
志村 有弘
新保 祐司
鈴木 健次
鷹羽 狩行
高橋 治
竹口 秀夫
千葉 俊二
司 修
辻原 登
十川 信介
富岡幸一郎
鳥居 邦朗
永峰 潤
縄田 一男

南原 幹雄
新倉 俊一
西木 正明
長谷川 權
蜂飼 耳
馬場あき子
林 京子
林 文子
春名 徹
日高 昭二
福島 俊彦
福田 美鈴
復本 一郎
富士川義之
藤沢 周
松崎鉄之介
松沢 成文
松信 裕
黛 まどか
三浦 朱門
水原 紫苑
宮坂 覺
三好 徹
諸角せつ子
八木 幹夫
山崎 洋子
山田 太一
山中 恒
山本 道子
吉田 秀和(5/22没)
林 淑 美
涌田 佑

決算報告書

1. 収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日

<事業活動収支の部>
<事業活動収入>

大科目	中科目	予算額	補正予算額	合計	決算額	差異	備考
基本財産運用収入		1,794,000	0	1,794,000	1,708,562	85,438	
	基本財産利息収入	1,794,000	0	1,794,000	1,708,562	85,438	
特定資産運用収入		2,910,000	0	2,910,000	2,897,421	12,579	
	特定資産利息収入(財団)	260,000	0	260,000	249,684	10,316	
	特定資産利息収入(指定)	150,000	0	150,000	207,941	△ 57,941	
	著作権料収入(財団)	2,500,000	0	2,500,000	2,439,796	60,204	
会費収入		3,000,000	0	3,000,000	3,045,000	△ 45,000	
	友の会費収入	1,900,000	0	1,900,000	1,745,000	155,000	
指定管理料等	支援する会費収入	1,100,000	0	1,100,000	1,300,000	△ 200,000	
		391,896,000	0	391,896,000	391,896,000	0	
事業収入	近代文学館維持運営費収入	133,601,000	0	133,601,000	133,601,000	0	
	近代文学館事業収入	258,295,000	0	258,295,000	258,295,000	0	
立替金収入		23,681,000	7,780,000	31,461,000	31,427,371	33,629	補正は利用料金収入等の増
	利用料金収入	8,774,000	6,990,000	15,764,000	15,744,170	19,830	補正は観覧料収入の増
	事業収入(指定管理)	6,229,000	△ 580,000	5,649,000	5,594,049	54,951	減額補正は図録販売収入の減
	自主事業収入	8,678,000	1,370,000	10,048,000	10,089,152	△ 41,152	補正は刊行物販売収入の増
寄付金収入		455,000	△ 340,000	115,000	118,699	△ 3,699	減額補正は立替金収入の減
	立替金収入(指定)	455,000	△ 340,000	115,000	118,699	△ 3,699	減額補正は立替光熱水費等の減
雑収入		374,000	510,000	884,000	900,521	△ 16,521	補正は寄付金収入(財団)の増
	受取利息収入	0	180,000	180,000	205,183	△ 25,183	補正は協賛広告料収入の増
(事業活動収入計)	雑収入(財団)	374,000	0	374,000	365,338	8,662	
	雑収入(指定)	0	330,000	330,000	330,000	0	補正は企業による協賛広告料収入の増
		424,110,000	9,290,000	433,400,000	433,333,574	66,426	

(単位:円)

<事業活動支出>

(単位 円)

大科目	中科目	予算額	補正予算額	流用額	合計	決算額	差異	備考
財団本部費		16,106,000	1,750,000	0	17,856,000	17,849,588	6,412	補正は事務費支出の増
	報酬	1,800,000	0	△ 290,000	1,510,000	1,510,000	0	
	人件費	6,338,000	180,000	3,550	6,521,550	6,521,550	0	補正は退職給付引当金支出の増
	租税公課	458,000	△ 30,000	△ 85,061	342,939	342,939	0	減額補正は消費税支出の減
	会議費	792,000	0	△ 50,610	741,390	741,390	0	
	事務費	4,982,000	1,600,000	122,121	6,704,121	6,699,772	4,349	補正は印刷製本費等支出の増
	刊行物出版費	1,736,000	0	300,000	2,036,000	2,033,937	2,063	
	指定管理費	407,504,000	6,400,000	0	413,904,000	413,900,709	3,291	補正は修繕費ほかの増
	人件費	238,097,000	0	234,545	238,331,545	238,331,545	0	
	消費税等	11,202,000	0	△ 256,939	10,945,061	10,945,061	0	
事務費	1,969,000	400,000	152,394	2,521,394	2,519,983	1,411	補正は事務費支出の増	
維持費	95,800,000	3,000,000	△ 44,600	98,755,400	98,755,059	341	補正は設備修繕(小破修繕)費等の増	
資料管理業務電算化事業費	17,593,000	0	△ 948,500	16,644,500	16,644,379	121		
資料調査・収集・整理費	2,420,000	0	202,000	2,622,000	2,621,751	249		
展示費	31,593,000	3,000,000	661,100	35,254,100	35,253,277	823	補正は印刷製本費、備品購入費等支出の増	
資料等整備費	8,830,000	0	0	8,830,000	8,829,654	346		
<事業活動支出計>		423,610,000	8,150,000	0	431,760,000	431,750,297	9,703	
<事業活動収支差額>		500,000	1,140,000		1,640,000	1,583,277		

<投資活動収支の部>

<投資活動収入>

大科目	中科目	予算額	補正予算額	合計	決算額	差異	備考
基本財産取崩収入		0	0	0	150,000	△ 150,000	
定期預金取崩収入		0	0	0	150,000	△ 150,000	
特定資産取崩収入		2,000,000	0	2,000,000	68,650,000	△ 66,650,000	
退職給付引当資産取崩収入		0	0	0	60,850,000	△ 60,850,000	定期預金(特定資産)満期償還額
中野・広津基金預金取崩収入		2,000,000	0	2,000,000	7,800,000	△ 5,800,000	定期預金(特定資産)満期償還額及び普通預金の取崩
<投資活動収入計>		2,000,000	0	2,000,000	68,800,000	△ 66,800,000	

<投資活動支出>

基本財産取得支出		0	0	0	157,239	△ 157,239	
県公債取得支出		0	0	0	7,239	△ 7,239	県公債評価減
普通預金取得支出		0	0	0	150,000	△ 150,000	基本財産取得支出(基本財産)
特定資産取得支出		2,500,000	1,140,000	3,640,000	70,226,038	△ 66,586,038	補正は特定資産取得支出の増
退職給付引当資産取得支出		0	0	0	60,842,207	△ 60,842,207	再投資による定期預金取得支出等の額
中野・広津基金預金取得支出		2,500,000	1,140,000	3,640,000	9,383,831	△ 5,743,831	補正は特定資産(中野・広津基金)取得支出の増
<投資活動支出計>		2,500,000	1,140,000	3,640,000	70,383,277	△ 66,743,277	
<投資活動収支差額>		△ 500,000	△ 1,140,000	△ 1,640,000	△ 1,583,277		
<当期収支差額>		0	0	0	0		
前期繰越収支差合計額		54,804	0	54,804	54,804		
次期繰越収支差合計額		54,804	0	54,804	54,804		

2. 正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,708,562	1,574,208	134,354
特定資産運用益	2,901,456	3,759,470	△ 858,014
受取会費	3,045,000	2,968,000	77,000
事業収益	423,323,371	424,170,134	△ 846,763
受取寄付金	1,340,000	7,946,000	△ 6,606,000
雑収益	1,015,185	936,987	78,198
経常収益計	433,333,574	441,354,799	△ 8,021,225
(2) 経常費用			
事業費	428,231,330	430,034,698	△ 1,803,368
管理費	3,286,277	3,430,114	△ 143,837
経常費用計	431,517,607	433,464,812	△ 1,947,205
評価損益等調整前当期経常増減額	1,815,967	7,889,987	△ 6,074,020
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	△ 411,894	△ 408,844	△ 3,050
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	△ 411,894	△ 408,844	△ 3,050
当期経常増減額	1,404,073	7,481,143	△ 6,077,070
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
特定資産取崩収益	14,500	16,000	△ 1,500
その他の固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	14,500	16,000	△ 1,500
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	14,500	16,000	△ 1,500
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	1,418,573	7,497,143	△ 6,078,570
一般正味財産期首残高	74,748,389	67,251,246	7,497,143
一般正味財産期末残高	76,166,962	74,748,389	1,418,573
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	78,000,000	78,000,000	0
指定正味財産期末残高	78,000,000	78,000,000	0
III 正味財産期末残高	154,166,962	152,748,389	1,418,573

正味財産増減計算書内訳表

平成23年4月1日から平成24年3月31日

内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計			内部取引控除	合 計
	公①近代文学館維持運営事業		公②資料複写サービス事業	収①貸会議室事業	収②販売・企画編集事業			
	指定管理	財団本部			共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	207,941							1,708,562
特定資産運用益				2,566,000				2,901,456
受取会費	410,728,899	1,153,900	2,358,820	0	6,576,432	9,081,752	0	3,045,000
事業収益								423,323,371
受取寄付金	0							1,340,000
雑収益	448,699							1,015,185
経常収益計	411,385,539	1,153,900	2,358,820	2,566,000	6,941,770	9,447,090	0	433,333,574
(2) 経常費用								
事業費	412,212,863	3,022,110	5,237,034		6,071,477	7,759,323		428,231,330
管理費								3,286,277
経常費用計	412,212,863	3,022,110	5,237,034	0	6,071,477	7,759,323		431,517,607
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 827,324	△ 1,868,210	△ 2,878,214	2,566,000	870,293	1,687,767		1,815,967
基本財産評価損益等								0
特定資産評価損益等	△ 4,650							△ 411,894
投資有価証券評価損益等								0
評価損益等計	△ 4,650	0	0	0	0	0		△ 411,894
当期経常増減額	△ 831,974	△ 1,868,210	△ 2,878,214	2,566,000	870,293	1,687,767		1,404,073
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
特定資産取崩収益	14,500							14,500
経常外収益計	14,500	0	0	0	0	0	0	14,500
(2) 経常外費用								
経常外費用計	14,500	0	0	0	0	0	0	14,500
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	817,474	1,868,210	2,878,214	△ 2,566,000	△ 637,603	△ 1,455,077		△ 1,542,821
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0		0
一般正味財産期首残高	7,885	0	0	0	1,597,534	1,597,534		1,418,573
一般正味財産期末残高	7,885	0	0	0	1,830,224	1,830,224		74,748,389
指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0		76,166,962
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0		78,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0		78,000,000
正味財産期末残高	7,885	0	0	0	1,830,224	1,830,224		154,166,962

3. 貸借対照表

平成24年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	26,654,585	28,838,406	△ 2,183,821
前払金	343,880	475,595	△ 131,715
有価証券	409,823	213,752	196,071
前渡金	0	0	0
立替金	1,200	0	1,200
商品	658,319	1,072,204	△ 413,885
貯蔵品	1,171,905	525,330	646,575
流動資産合計	29,239,712	31,125,287	△ 1,885,575
2. 固定資産			
基本財産	109,955,220	109,947,981	7,239
特定資産	196,163,592	167,952,737	28,210,855
その他の固定資産	17,511,512	17,918,756	△ 407,244
固定資産合計	323,630,324	295,819,474	27,810,850
資 産 合 計	352,870,036	326,944,761	25,925,275

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	21,703,499	23,660,509	△ 1,957,010
前受金	2,005,352	2,393,400	△ 388,048
預り金	3,645,833	3,419,040	226,793
流動負債合計	27,354,684	29,472,949	△ 2,118,265
2. 固定負債			
退職給付引当金	171,348,390	144,723,423	26,624,967
固定負債合計	171,348,390	144,723,423	26,624,967
負 債 合 計	198,703,074	174,196,372	24,506,702

III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	78,000,000	78,000,000	0
指定正味財産合計	78,000,000	78,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(78,000,000)	(78,000,000)	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産	76,166,962	74,748,389	1,418,573
一般正味財産合計	76,166,962	74,748,389	1,418,573
(うち基本財産への充当額)	(31,955,220)	(31,947,981)	7,239
(うち特定資産への充当額)	(24,822,673)	(23,238,842)	1,583,831
正味財産合計	154,166,962	152,748,389	1,418,573
負債及び正味財産合計	352,870,036	326,944,761	25,925,275

貸借対照表内訳表

平成24年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	23,196,978	1,353,632	2,103,975		26,654,585
前払金	288,520	0	55,360		343,880
有価証券			409,823		409,823
前渡金					0
立替金	1,200				1,200
商品		658,319			658,319
貯蔵品		1,171,905			1,171,905
流動資産合計	23,486,698	3,183,856	2,569,158	0	29,239,712
2. 固定資産					
基本財産			109,955,220		109,955,220
特定資産	94,571,492	951,159	100,640,941		196,163,592
その他の固定資産			17,511,512		17,511,512
固定資産合計	94,571,492	951,159	228,107,673	0	323,630,324
資 産 合 計	118,058,190	4,135,015	230,676,831	0	352,870,036
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	20,189,492	952,413	561,594		21,703,499
未払費用					0
前受金	313,000	0	1,692,352		2,005,352
預り金	2,976,321	401,219	268,293		3,645,833
流動負債合計	23,478,813	1,353,632	2,522,239	0	27,354,684
2. 固定負債					
退職給付引当金	94,571,492	951,159	75,825,739		171,348,390
固定負債合計	94,571,492	951,159	75,825,739	0	171,348,390
負 債 合 計	118,050,305	2,304,791	78,347,978	0	198,703,074
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	0	0	78,000,000	0	78,000,000
指定正味財産合計	0	0	78,000,000	0	78,000,000
(うち基本財産への充当額)			(78,000,000)		(78,000,000)
2. 一般正味財産					
一般正味財産	7,885	1,830,224	74,328,853	0	76,166,962
一般正味財産合計	7,885	1,830,224	74,328,853	0	76,166,962
(うち基本財産への充当額)			(31,955,220)		(31,955,220)
(うち特定資産への充当額)			(24,822,673)		(24,822,673)
正味財産合計	7,885	1,830,224	152,328,853	0	154,166,962
負債及び正味財産合計	118,058,190	4,135,015	230,676,831	0	352,870,036

4. 財 産 目 録

平成24年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物質等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
(流動資産)	現金 預金	手元保管 普通預金 三菱東京UFJ銀行 横浜中央支店(指) 横浜銀行 県庁支店 三菱UFJ信託銀行 本店営業部(本) 三菱東京UFJ銀行 横浜中央支店(本)	運転資金として 運転資金として	456,079 21,872,641 1,550,743 918,108 1,857,014	
	現金預金合計			26,654,585	
	前払金 有価証券	保険料に対する前払額	期間建運送保険等	343,880	
		みずほ ^ほ バ ^ス ス ^ス 証券 横浜支店 大和証券 横浜支店 S M B C 日興証券 横浜駅前支店		55,048 47,729 307,046	
	有価証券合計			409,823	
	前渡金 立替金			0 1,200	
	商品 貯蔵品	手元保管 手元保管	収益事業商品として 貯蔵用資料として	658,319 1,171,905	
	流動資産合計				29,239,712
	(固定資産)				
	基本財産				
基本財産	投資有価証券	神奈川県債	満期保有目的で保有し、運用益を主に法人事業の財源として使用している。	108,805,220	
	預金	定期預金 横浜銀行 県庁支店 普通預金 三菱UFJ信託銀行 本店営業部(本)		1,000,000 150,000	
	基本財産合計			109,955,220	
	特定資産				
特定資産	退職給付引当資産 投資有価証券	神奈川県債 みずほ ^ほ バ ^ス ス ^ス 証券 横浜支店 大和証券 横浜支店 S M B C 日興証券 横浜駅前支店 普通預金 三菱東京UFJ銀行 横浜中央支店(本) 三菱東京UFJ銀行 横浜中央支店(指定) 横浜銀行 県庁支店(本) 三菱UFJ信託銀行 本店営業部(本)	従業員の退職金の支払いに備えて管理している	72,968,279 3,152,920 2,876,200 10,000,000 3,252,788 24,544,752 10,751,421 43,794,559	
	退職給付引当資産合計 中野・広津基金引当資産 投資有価証券			171,340,919	
	預金	野村証券MMF 川崎支店 定期預金 三菱UFJ信託銀行 本店営業部(本) 普通預金 三菱UFJ信託銀行 本店営業部(本) 横浜銀行 県庁支店(本)	受贈した著作権資産による収益を基金として運用し、公益目的事業等に資するための財源に使用している。	3,877,919 15,358,061 3,586,693 2,000,000	
	中野・広津基金引当資産合計 著作権資産	中野孝次等著作権	寄贈された中野孝次ほかの作品著作権を資産管理したもの	24,822,673 17,511,512	
	その他の固定資産	その他の固定資産合計		17,511,512	
	固定資産合計				323,630,324
	資産合計				352,870,036
	(流動負債)				
	(流動負債)	未払金	公益目的事業ほかに対する未払額	維持管理業務委託業務等に対する未払い分	21,703,499
		前受金	公益目的事業ほかに対する前受額	次年度事業収入に対する前受収入分	2,005,352
預り金		公益目的事業ほかに対する預り金	委託事業等に関する預かり分	3,645,833	
流動負債合計				27,354,684	
(固定負債)					
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員の退職金の支払いに備えたもの	171,348,390	
固定負債合計				171,348,390	
負債合計				198,703,074	
正味合計				154,166,962	

5. 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
有価証券…総平均法による原価法を採用しています。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品・貯蔵品 先入先出法による低価法を採用しています。
- (3) 著作権について
当法人に寄贈された中野孝次氏等著作権については当法人の重要資産の一部として、著作者別による一括評価方法を用いて、その他の固定資産として計上しています。
- (4) 引当金の計上基準
自己都合による期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上しています。
- (5) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
(会計方針の変更)
「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(同 適用指針第16号)が適用されることに伴い、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。ただしこの変更による当期一般正味財産増減額に与える影響はない。
なお、リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっています。

2 基本財産、特定資産及びその他の固定資産の増減額及びその残高

基本財産、特定資産及びその他の固定資産の増減額及びその残高は次のとおりです。
(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,150,000	0	150,000	1,000,000
普通預金	0	150,000	0	150,000
投資有価証券	108,797,981	7,239	0	108,805,220
小 計	109,947,981	157,239	150,000	109,955,220
特定資産				
退職給付引当資産	144,713,895	87,477,024	60,850,000	171,340,919
中野・広津基金引当資産	23,238,842	9,383,831	7,800,000	24,822,673
小 計	167,952,737	96,860,855	68,650,000	196,163,592
その他の固定資産				
著作権資産	17,918,756	0	407,244	17,511,512
小 計	17,918,756	0	407,244	17,511,512
合 計	295,819,474	97,018,094	69,207,244	323,630,324

3 基本財産、特定資産及びその他の固定資産の財源等の内訳

基本財産、特定資産及びその他の固定資産の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	
投資有価証券	108,805,220	77,000,000	31,805,220	
小 計	109,955,220	78,000,000	31,955,220	0
特定資産				
退職給付引当資産	171,340,919			171,340,919
中野・広津基金引当資産	24,822,673		24,822,673	
小 計	196,163,592	0	24,822,673	171,340,919
その他の固定資産				
著作権資産	17,511,512		17,511,512	
小 計	17,511,512	0	17,511,512	0
合 計	323,630,324	78,000,000	74,289,405	171,340,919